

高島市小中学校再編基本方針の策定案 について

高島市小中学校再編基本方針（案）にかかる説明会等の経過（資料1）	1
保護者アンケートおよび保護者説明会の結果（資料2）	2
区長・自治会長会議および住民自治協議会でのご意見・ご質問（資料3）	6
パブリックコメントの結果（資料4）	9

高島市小中学校再編基本方針（案）にかかる説明会等の経過

○市議会への説明

会議	日程
全員協議会	令和 6 年 6 月 6 日（木）

○マキノ地域保護者等説明会

対象者	日程
こども園保護者会代表 P T A 代表 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員	令和 6 年 6 月 2 7 日（木）
こども園・小中学校の 保護者	令和 6 年 7 月 4 日（木）・6 日（土）

○マキノ地域住民への説明

対象者	日程
区長・自治会長	令和 6 年 7 月 1 0 日（水）
住民自治協議会	令和 6 年 7 月 3 0 日（火）
マキノ地域全域	令和 6 年 8 月 8 日（木）区長・自治会長宛てに回覧依頼

○アンケートおよび意見募集

名称	期間
保護者アンケート	令和 6 年 7 月 8 日（月）から 7 月 1 1 日（木）まで
パブリックコメント	令和 6 年 7 月 3 1 日（水）から 8 月 3 0 日（金）まで

マキノ地域の学校再編について(お知らせ)

高島市教育委員会では、「高島市小中学校再編基本方針(案)」を作成し、7月4日(木)、6日(土)には、マキノ地域の小学校、こども園の保護者の皆さまを対象に説明会を開催させていただきました。また、7月8日(月)にはアンケート調査へのご協力をお願いしました。さらには、7月10日(水)には、マキノ地域の区長・自治会長会でも説明させていただきました。

このたびの基本方針(案)は、マキノの3つの小学校を1校に統合し、マキノ中学校に隣接する新たな校舎を新築し、令和10年4月に「マキノ小学校」(仮称)を開校させていただくという方針(案)であります。

保護者説明会でのおもなご意見およびアンケート調査の結果につきましては、以下のとおりです。

保護者説明会(7/4・7/6)でのご意見・ご質問

基本方針(案)に対して、具体的なスケジュールや新設の学校施設、通学手段、統合に向けた取り組みなどにご質問やご意見がほとんどであり、中には明確に賛成の意思を示されて質問、意見を示される方もおられました。説明会でいただきました主なご質問やご意見は「○」で、それに対して教育委員会からお答えしたことは「→」で表しています。

○ マキノ中学校に隣接予定の新校舎には、体育館や特別教室などもつくるのですか？

→ 新校舎の施設や設備については、今後色々なご意見を聞きながら設計していくこととなります。教育課程に必要な特別教室や体育の授業を行う場所の確保等は当然のことと考えています。詳しくは、今後検討していくこととなります。

○ 小中学校が隣接することについて、同じ通学路を利用することが想定されるが、小学生は徒歩通学、中学生は自転車通学となり、安全面が心配です。

→ 新設時期の各地域に在籍する児童生徒数を把握して、安全な通学について、今後検討する必要がありますと考えています。

○ 令和10年4月を目途に統合するという話であるが、地域の方が再編に反対した場合は計画が延期になるのか。また、延期される場合はどれぐらいの期間の延期となるのか伺いたい。

→ 地域の方から反対があった場合、教育委員会としては子どもたちの教育環境を最優先に考えており、保護者の方々のご意見を第一に受け止めさせていただき、判断していきたいと考えています。その上で、地域の方のご意見を参考にさせていただきたいと考えています。

学校施設の新設については、令和7年度に実施設計をすることになるため、今後、保護者の方や地域の方の意見を反映する方向で考えています。さらに、実施設計が整うと令和8年から9年にかけて2年間ほどの期間をかけて工事を行うことになり、場合によっては中学校の一部改修を行う可能性もあるため、これらを踏まえると令和10年4月開校のスケジュールは、スピード感をもって開校できる最速の日程であると考えています。

また、統合して開校する新小学校の準備として、校歌や校章をどうするのか、通学路をどうするのか、コミュニティバスを使うのかといったことを検討する時間が必要になります。できるだけ早い段階でご理解をいただき、迅速に計画を進めていきたいと考えています。

○ マキノの3小学校が閉校になるとの方針だが、できれば地域に開いた形で学校施設を残してもらいたい気持ちがあり、市の方で継続的な管理予算を組んでもらうなど、具体的な案を持って地域の説明会に臨んでもらいたい。

→ 小学校を閉校してからの跡地利用に関して具体的な案は今のところありません。学校は地域コミュニティの拠点であり、災害時の避難所でもある現状は認識しています。その上で、令和10年4月までの3年間という時間の中で、地域の方と一緒にこういった形で利用していくのか検討していきたいと考えています。また、閉校後の利用が決まるまでの間については、市の方で責任をもって管理していくことになると考えています。

○ 学校からの距離が遠い場所に住んでいる子どもたちはバス通学になると思うが、公共交通機関を利用する場合は運賃を負担しなければならないのか、バスの手配等していただけるのか伺いたい。

→ これまでからバス通学に要する費用は全て市で負担しています。バス等の交通手段の確保については、今後検討していきます。

○ マキノ東小学校は、自然教室で毎年5年生と6年生がカヤックに乗る活動があります。そういったものが今後途絶えていくのかなと思うと残念だなということを感じています。

→ 今まで積み上げられたものを大事にしていかなければならないと考えています。今後の準備期間の中で、カリキュラムや行事について継続可能かどうかは考えていく必要があります。カヤックなどの活動への思いは、今後の学校の統合に向けた取り組みや計画づくりの中で生かしていけたらと思いますので、ご意見として頂戴いたします。

○ これから閉校する学校図書館の本は、新しい学校の図書館に移動されることになるのか。

→ 閉校する学校の備品は最大限有効活用できるよう努めていきたいと考えています。使えるものについては移転して使っていくのが現実的であり、よりよい教育環境づくりのために工夫すべきことだと考えています。

○ 方針案にあるマキノ小・中学校は高島学園のような小中一貫教育校のイメージになる案だと思うが、高島学園のよいところを教えてもらいたい。

→ 小中一貫教育校のメリットは、校舎が隣接することで異学年の交流が盛んになることです。例えば、中学校の文化祭に小学校5・6年生が参加して一緒に歌を歌うこともありますし、中学校の体育祭に小学生が参加するといった交流もあります。また、教職員の意識として、小学校と中学校が連携して子どもたちを9年かけて育てようという一体感も生まれています。

○ 高島学園でも広範囲から通学していると思うが、バス通学の状況を知りたい。また、小学生は制服を着ているのか知りたい。

→ 高島小中学校はマイクロバスを含め4台稼働していて、小学生の約6割がバス通学をしています。小中学生の通学定期代については、保護者負担ではなく、全て市が負担しています。

→ 中学生は制服ですが、小学生は普段の服装で通学しています。

○ 子どもたちにとっては学校統合によって大きく環境が変わるため、統合してからうまく馴染めるように準備期間で小学校同士の交流機会づくりなどに取り組んでももらえたらいいと思います。

→ 子どもたちにとって、学校統合への準備期間、助走期間が必要であるということについては同感です。今回の方針案や計画が進むことになれば、交流する機会づくりなどに力を入れていきたいと考えています。

(次ページに続く)

小学校・こども園の保護者の方々を対象としたアンケート調査の結果

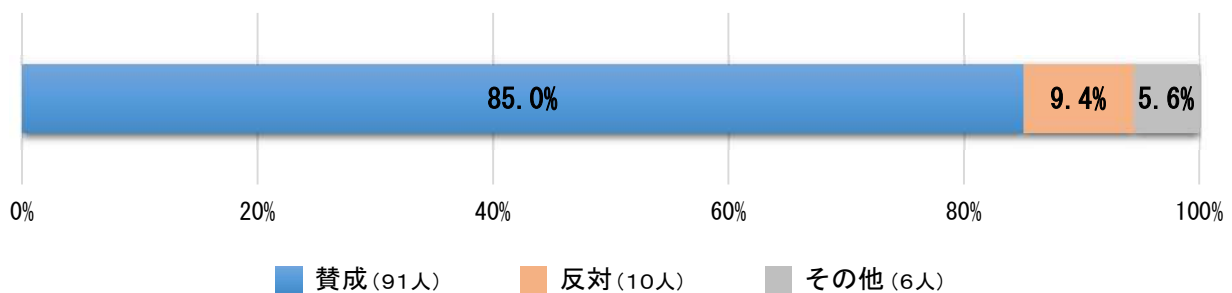
「賛成」と回答した方は全体の 85.0%（91 人）となりました。「今後の児童数の推移を考えると統合はやむを得ない。」「複式学級はさきたい。」といった意見が多くありました。

「反対」や「どちらでもない」と回答した方の中には、「統合はやむを得ないが、校舎を新築する必要があるのか。」といった意見もありました。また、統合後のバス通学や環境の変化等を心配される方もありました。以下、アンケート調査結果の集計とおもなご意見を掲載します。

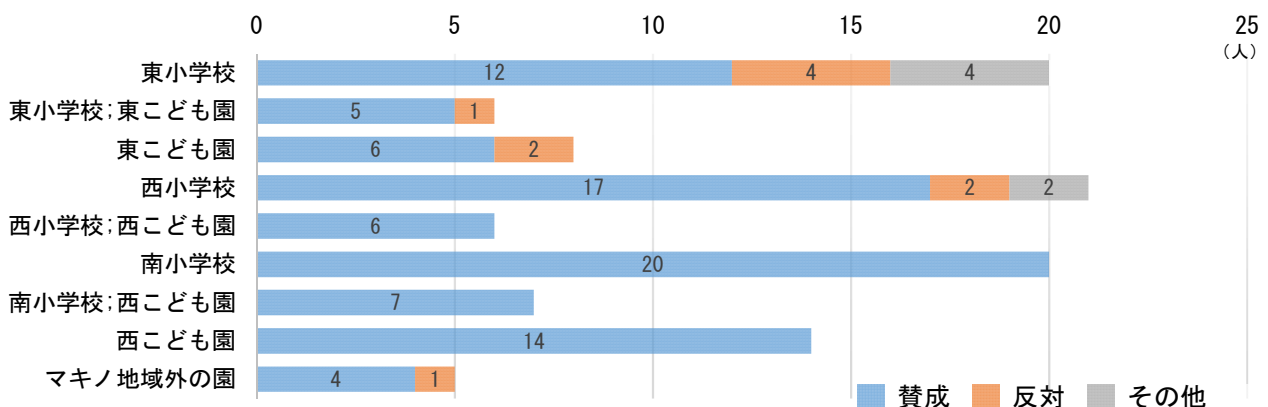
【調査概要】

- 1 アンケート実施時期 令和 6 年 7 月
- 2 対象者 マキノ地域在住の保護者（マキノ東小学校、マキノ西小学校、マキノ南小学校、マキノ東こども園、マキノ西こども園、他のこども園等）
- 3 対象者数（保護者世帯数） 167 名
- 4 アンケート回答者数 107 名
- 5 回答率 64 %

マキノ地域 3 小学校の統合案へ賛否



マキノ地域 3 小学校の統合案への賛否（学校・園別）



「賛成」と回答された方のご意見（その 1）

- ・ 今後の児童数を考えると統合が妥当。複式学級は絶対に避けていただきたい。統合するのであれば学校新築はベスト。
- ・ 各小学校で取り組まれてきた独自の活動が再編によってなくなるのは寂しい。子どもたちは現高学年がしているカヤックを自分たちも高学年へあがったらと思っている。グラウンドや体育館は中学校と共有にならない方がよい。
- ・ 複式学級になるより、統合されて同学年の子と授業が受けられるほうがよい。こども園も 1 つになるし、中学校も 1 つなので、小学校も 1 つでいいと思う。

「賛成」と回答された方のご意見（その2）

- ・少ない人数でしっかりと見てもらえるのもいいですが、いっぱい友だちを作り、競争心も成長していけたらいいと思います。気の合う友だちもできると良いと思います。
- ・各校ともに児童生徒数が減り、集団の中で人間関係形成のためにも学年の児童数は少しでも多い方がいいと考えるため。
- ・適正な人数での授業がなされ、またそのことによる多様な課外活動の幅が広がることを期待します。
- ・ここまで人数が減り複式学級が増えてくると、しょうがないように思います。
- ・資料で示されている以外に、実際にはクラスで女児1人であったり、男児1人であったりというクラスがあり、現時点で多くの支障をきたしています。1日も早い統合を望みます。
- ・沢山の子どもたちの中で刺激しあう事によって成長していけると思う。

「反対」と回答された方のご意見

- ・通学面の話し合いが必要。少人数のメリットが無くなる。児童数が増える事により活動出来る事が増え、経験出来る範囲広がると思うが、今の環境を変える事に抵抗があり、新しい事に対応することが難しいと思われる。
- ・まず新設することが疑問。新設して統合する資金があるのなら、それぞれに特色のある各小学校を運営することに活かしてほしい。3校の特色や地域性は保持してほしい。
- ・中学校も1クラスずつになり空き教室が増えるにもかかわらず新設するのはもったいない。近い将来に人数が減り小学校自体の存続もあやしいのに新設にお金をかけるのではなく、あるものを有効に使うことが大切だと思う。

「その他」と回答された方のご意見

- ・「賛成・反対のどちらでもない。」子どもの人数が少ない為、統合は避けられないと思うが少人数だからこそ手厚い教育が受けられたのでそこに関しては残念です。
- ・「統合には賛成、新設には反対。」3小学校の統合は賛成だが、新設する必要があるのか？3小学校のうちいずれかの校舎を使用するか、中学校の校舎を一緒に使えないのか。中学校も教室が余ってくるはず。

その他、基本方針（案）の内容についてのご意見

- ・統合には大賛成で、新校舎での生活、楽しみにしています。
- ・できるだけ早く統合してほしいです。
- ・再編にあたり、子どもが楽しく通えるような雰囲気や、より多様性を認め合えるような学校となることを強く希望します。また、保護者や地域の方々が積極的に関われ、一緒に雰囲気を作り上げられる学校であるといいなあと思います。

今後の予定 「高島市小中学校再編基本方針（案）」に関するパブリックコメント（意見募集）

令和6年7月31日（水）～8月30日（金） 高島市ホームページ・市役所・各支所にて

子どもたちにとってよりよい教育環境を整えるため、基本方針（案）に沿って、マキノ地域の方々のご理解を得て、学校再編を進めてまいりたいと考えております。

ご意見やお問い合わせ等がございましたら、下記担当まで連絡いただければ幸いです。

【担 当】 高島市教育委員会事務局教育総務部 教育総務課（担当：林・平井） TEL：25-8558

マキノ地域区長・自治会長会議および住民自治協議会でのご意見・ご質問

開催日：令和 6 年 7 月 1 0 日（区長・自治会長会議）

令和 6 年 7 月 3 0 日（住民自治協議会）

- 3つの小学校の跡地問題について、現在何か考えを持っているのか。
→ 今のところ廃校となった学校施設の再利用に関しての計画はなく、3年間の準備期間の中で、地域の方にも入っていただきながら検討していきたいと考えています。
- 給食センターの跡地に新校舎を建てるだけの用地が確保できるのか。
→ 給食センターの解体後に用地は確保できますが、一部中学校のグラウンドやテニスコートなどのスペースを活用することを検討していく予定です。
- 新設校舎に小学校の体育館を建てることや、平屋の校舎にするなど、子どもたちがのびのび生活できるよう将来を見据えた学校にしてもらいたいと思う。
→ 新設校舎の機能についてたくさんのお声をいただいておりますが、詳細については決まっていませんので、今後検討していきたいと考えています。
- 今ある3つの小学校を活用するという方法は検討されたか。また、小中学校の統合に伴い、小学生と中学生の通学方法はそれぞれどのようなになるのか。
→ 今ある3小学校は、外観からも改修が必要な箇所があり、総合的に判断した結果、今回新校舎を建てる方針案に至りました。通学方法に関しては、当然通学距離が長くなるため、バス通学も検討する必要があると考えています。いずれにしても、子どもたちの安全面を最優先に考え、どのようにしていくか検討していくことになります。
- 小学校を新設するのではなく、今津に電車通学する方法は検討されたのか。
→ 高島市の小学校の統廃合の考え方は、中学校区で行うことを基本としており、マキノと今津を統合するという考えはありません。
- 先日の保護者説明会で特に反対意見はなかったとのことだが、どのような意見があったかお聞かせいただきたい。
→ 登下校時の安全確保、通学バス、統合してどのような学校になるのか、旧小学校で行われているカヤックなどの地域性のある活動はどうなるの

かなど、今回の方針案の是非というよりも、新校舎になってからどうなるのかといったご意見・ご質問が多くありました。また、その他にも、保護者が概ね賛成しているこの計画に地域の方々が反対された場合に、この統合計画そのものが中止されたり、始期が遅れてしまったりすることがあるのか、という内容のご質問がありましたが、地域の方々にご理解いただけるよう努力する旨の説明をしました。

- 3小学校を統合することで学校の教育予算も少なくなると思うが、マキノ地区広範囲にわたる地域行事や教育活動を行うために予算をある程度配慮していただきたい。

→ 3小学校の統合後も、円滑な教育活動が展開できるよう教育委員会で予算措置をしていきたいと考えています。

- 廃校になる3小学校は現在、広域避難場所になっているが、統合されたら、それぞれどのようなになるのか。

→ 防災拠点としての問題については、市の防災部局とも必要な議論を行い、避難所としての機能を残していくことも視野に入れながら今後の検討を行っていきます。

- 検討事項が多いように思うが、この先4年で出来るのか。

→ 令和6年度に基本方針を定め、令和7年度に設計、8年度と9年度の2か年で建設という流れですが、それらと並行して、この3年の間には様々な協議や検討を進めていく予定です。

- もっと早くから学校を統合していればという思いがあったので、ぜひこの3年間という準備期間で、統合の計画を前に進めてもらいたい。保護者アンケートについて、保護者間では賛成が85%とのことだが、地域全体では結果が異なるかもしれない。本当に子どもたちのことを考えると、人数が少ない分手厚い指導が受けられる一方で、一定の人数がいなければ質は確保できないと思う。マキノ地域で子どもの声がするうちに、良い環境を作っていただきたい。

- マキノ中学校だけでは、生徒数が足りず部活動が満足に行えない。子どもに、スポーツを含め様々なことを経験させてあげようと思うと、結果的に遠方になり親の送迎が必要になる。親の送迎可否で、子どもの活動に影響出ることを考えると、今のうちから、マキノ中学校と今津中学校が一緒になって様々な体験ができるような枠組みを考えても良いと思う。

- 統合しても小学校１年生から中学校３年生までメンバーが変わらず、その中で子どもたちはどのような生活をするのか。それを解決するには、統合をして学校の規模を拡大しないと子どものためにならず、もっと大規模の統合が必要であると考え。また小学校を統合して終わりではなく、今までとは違う先進的な教育をやってもらいたい。
- 先の話になるが、地域の特色ある教育にぜひ力を入れていただきたいし、もっと地元の人に協力を仰いでも良いと思う。
 - 現在の制度の中でも、学校運営協議会という地域のご意見やお声を学校の運営に反映させるという組織があります。新設校では、地域の特色を生かしたモデル的な学校づくりに向け、学校運営協議会等において地域の皆様に後押ししてもらいながら、進めていきたいと考えています。
- 小中学生とよく話をするが、子どもの本音は意外と革新的なことを求めておらず、普通の子ども生活を送りたいと思っている。子どもたちが自分で考えながら育っていけるような教育環境であってほしい。また、マキノで小中一貫教育をするうえで、子どもたちが幅広い世代の方と接点を持てるようなプランを教育委員会と住民が一緒になって考えていけると良いと思う。
- たまたま学校が隣接するから小中一貫教育にするという経緯ではなく、特色のある教育を行うために小中一貫教育にするといったプロセスをしっかりと考えてもらいたい。
 - 補足説明になりますが、小中一貫教育を行っているのは高島学園だけでなく、マキノでも、施設は離れていますが小中一貫教育に取り組んでいます。今後は、施設が隣接することで、違う形での取り組みも充実させていけると考えています。

「高島市小中学校再編基本方針(案)」に関するパブリックコメント ご意見の概要と市の考え方について（結果）

● パブリックコメントの実施状況

(1) 意見募集期間

令和6年7月31日～令和6年8月30日

(2) 意見の内訳

提出方法	郵送	FAX	Eメール	持参	その他	合計
人数		4	3	1		8

● 意見の概要と市の考え方

提出いただいたご意見および市の考え方は、次のとおりです。

「高島市小中学校再編基本方針(案)」の内容に直接関連する意見等のみ掲載しています。

NO	該当箇所	意見等の概要	市の考え方
1	P2	I 小中学校再編基本方針策定の背景と市内小中学校の現状 1 基本方針策定の背景 少人数だから子どもたちの公的教育環境にふさわしくない、というわけではない。関係人口や移住人口を増やしていくための魅力発信として、少人数でありながら様々な工夫をするのが高島市の教育の特徴であることを前面に出すような方針も検討いただきたい。	市内小中学校の多くが学校教育法に基づく標準規模を下回る小規模校であります。今後も地域の特色を生かした教育活動の充実を図り、確かな学力と豊かな心を育む教育の推進に努めてまいります。
2	P6 P8	I 小中学校再編基本方針策定の背景と市内小中学校の現状 3 これまでの学校再編の経過 (3) 学校再編の効果 II 学校再編の基本的な考え方 1 学校再編の必要性 確かに複式学級を解消することは必要であるが、まず県や市の加配教員を増やすことを優先してほしい。 少人数を恵まれた教育環境と考え、その良さを生かす教育が否定されないようにすべきである。そういう中で育っていく環境も切り捨てないでほしい。	本市が学校再編の基本的な考え方として想定する学校規模の基準は、小中学校ともに「複式学級とならない規模」であり、複式学級の解消については、県に対して加配教員の増員要望を行うとともに、市としても様々な工夫や対策を講じてまいります。

3	P8	Ⅱ 学校再編の基本的な考え方 1 学校再編の必要性 (2) 教育活動の充実 マキノ3小学校が現在取り組んでいる教育活動は、それぞれに小規模校ながらも地域の方々の理解と協力があって取り組まれてきたものです。これまで3小学校が取り組んできた自慢できる個々の取り組みも活かせるところは活かしてステップアップしていただきたい。	確かな学力と豊かな心を育む教育を推進するため、新たな小学校においても、3小学校で行ってきた取り組みを活かし、創意と工夫を凝らした教育活動の充実を図ってまいります。
4	P8	Ⅱ 学校再編の基本的な考え方 1 学校再編の必要性 現在まで取り組まれてきた高島市の小中学校の教育実践の中で、少人数による教育活動のメリットやプラス面も、もっと市民に広報する必要があるのではないかと。一概に少人数による教育活動や複式学級指導がマイナス面として取り上げられがちな傾向を憂慮します。	児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合いながら切磋琢磨することが、より一層の教育環境の充実につながるものと考えております。 ご意見につきましては、貴重なご提案として、今後の検討の参考とさせていただきます。
5	P8	Ⅱ 学校再編の基本的な考え方 1 学校再編の必要性 小学校の新設を機に、学校図書館を住民も利用できる形にすることが可能ではないかと。全国的にも学校図書館と公共図書館の機能を併せ持った図書館は数多くあり、児童生徒が、地域の住民と出会い交流できる場として、また一般向けの図書に出会うことでのメリットや成果の報告もある。	学校施設が地域コミュニティの拠点として機能することは重要であるとと考えております。 ご意見につきましては、貴重なご提案として、今後の検討の参考とさせていただきます。
6	P10	Ⅱ 学校再編の基本的な考え方 2 基本的な考え方 (4) 通学区域 地域を超えたスクールバスの運行や、高島市独自の新たなライドシェアを構築するなど、子どもを主体に考えてはどうか。	通学路の広域化に伴い、通学路や通学方法など慎重に検討してまいります。 ご意見につきましては、貴重なご提案として、今後の検討の参考とさせていただきます。

7	P10	Ⅱ 学校再編の基本的な考え方 2 基本的な考え方 (5) 施設・設備の有効活用 地域の子どもが居なくなっている時代での活用は、防災拠点しかないと考える。	ご意見につきましては、貴重なご提案として、今後の検討の参考とさせていただきます。
8	P10	Ⅱ 学校再編の基本的な考え方 2 基本的な考え方 (5) 施設・設備の有効活用 3 小学校の活用については、先進事例を参考にしながらも、住民の意見を尊重して、マキノらしい、高島市らしい利活用が出来ることを望む。	学校再編により閉校となる学校施設の活用方法に関しては、地域の皆さまの意見を尊重しながら、有効な活用方法を検討してまいります。 ご意見につきましては、貴重なご提案として、今後の検討の参考とさせていただきます。
9	P10	Ⅱ 学校再編の基本的な考え方 2 基本的な考え方 (6) 保護者や地域住民との共通理解 3 小学校の統合は、マキノに住む全住民に関わってくることなので、開かれたより丁寧な説明の機会を望みます。	3 小学校の統合については、今後も引き続き、関係者の皆さまと共通理解を深めながら進めてまいります。
10	P11	Ⅲ 各中学校区の小中学校再編基本方針 1 基本方針の期間および内容 基本方針の期間が令和6年度から令和11年度までとなっているが、検討となっている学校については、今から始める必要がある。	基本方針の期間については、出生数等から児童生徒数の推計が可能な期間を設定しています。今後もこれらの動向に注視してまいります。

11	P11 ～	Ⅱ 学校再編の基本的な考え方 2 基本的な考え方 (3) 学校区 高島市はいつまで旧町村単位を続けるのか。地域をまたいだ統合を行うべきだと考える。	今回の基本方針（案）では、小学校の統廃合における学校区の範囲は現行の中学校通学区域内を基本としており、また、中学校についても行政区分を踏まえた学校区となっております。 ご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
12	P13	Ⅲ 各中学校区の小中学校再編基本方針 2 各中学校区の現状と学校再編の方向性 (1) マキノ中学校区学校の現状と再編の方向性について 小中一貫教育の必要性、効果は充分検証されているのか。一貫教育という名のもとで学び急ぎにつながることを危惧する。	市内全ての小中学校において小中一貫教育を推進しており、小中9年間を見据えた系統的・継続的な学習指導や生徒指導を行ってきております。
13	P15	Ⅲ 各中学校区の小中学校再編基本方針 2 各中学校区の現状と学校再編の方向性 (3) 朽木中学校区学校の現状と再編の方向性について 朽木西小学校の存在を理由に移住してきた住民も多く、学校は地域の存続に欠かせないものである。小学校の再編については、地域へ与える影響の大きさ、とりわけ過疎地域における影響を十分に考慮していただきたい。	朽木地域における小学校の再編については、地域への影響も十分に考慮しながら、そのあり方を検討してまいります。
14	P15	Ⅲ 各中学校区の小中学校再編基本方針 2 各中学校区の現状と学校再編の方向性 (3) 朽木中学校区学校の現状と再編の方向性について この地域は小さいながらも社会を作って存続し続けています。それも小学校があるからで、もし無くなってしまうと、ここに住む人の数は減る一方となってしまう。	朽木地域における小学校の再編については、地域への影響も十分に考慮しながら、そのあり方を検討してまいります。

15	その他	子どもたちにとって、小規模校が決して悪い学習環境ではなく、小規模校ならではの良さもある。地域から学校がなくなれば、地域が廃れていく。学校というのは、そういう役割もあると思う。	学校再編については、地域の理解をいただきながら進めてまいります。ご意見につきましては、貴重なご提案として、今後の参考とさせていただきます。
----	-----	---	---